

農研速報

平成 24 年 9 月 4 日発行

茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室

〒301 - 0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297 - 62 - 0206 FAX 0297 - 64 - 0667

作物名(大豆)

県名	生育ステージ		生育の状況	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本年	平年対比		
茨城県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 莢伸長期	遅い	8月の龍ヶ崎の気象概況は、平年と比較して、平均気温は0.8高く、積算降水量は18%、積算日照時間は142%であった(龍ヶ崎アメダス観測値。平年値は直近5カ年の平均値)。 生育は平年と比較して以下のとおりである(表)。 開花期はタチナガハで6日遅く、納豆小粒で3日遅かった。 タチナガハは主茎長が平年より低く、主茎節数はやや少ない。分枝数が多く、茎は細く、生体重は平年並である。納豆小粒は主茎長が平年並で主茎節数は少ない。分枝数は多く、茎は細く、生体重は重い。 着莢数はタチナガハ、納豆小粒ともに平年より少ない状況である。 現在の生育は写真(次ページ)のとおりである。	紫斑病及び害虫防除を実施した。 (8月3日、8月17日、8月28日) チョウ目幼虫の発生が県下全域でやや多い~多いことから、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を行う。 吸実性カメムシ類の発生が多くなると予想される。莢伸長期~子実肥大中期(粒の直径が0.5~1cm程度)頃に防除を徹底する。 (の詳細については病害虫防除所発行の病害虫速報No.3,4を参照下さい。)
	納豆小粒 開花終~ 着莢期	やや遅い		

表 生育診断調査(8月24日調査、播種後58日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月6日	+4 (8月2日)	+6 (7月31日)	52	88 (59)	93 (56)	13.1	97 (13.5)	96 (13.6)	4.9	126 (3.9)	117 (4.2)	9.3	82 (11.4)	89 (10.4)
納豆小粒	8月10日	+3 (8月7日)	+3 (8月7日)	73	90 (81)	99 (74)	15.4	93 (16.5)	94 (16.4)	6.9	108 (6.4)	111 (6.2)	8.0	71 (11.2)	77 (10.4)

品種	地上部生体重			一株莢数		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	212	91 (233)	100 (213)	83	69 (121)	86 (96)
納豆小粒	275	109 (252)	114 (242)	151	84 (180)	80 (188)

試験場所は農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。

()内は前年値又は平年値。平年値は平成19年~23年(5カ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間の長径を測定した。

耕種概要:6月27日播種、11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、

施肥量; N-P₂O₅-K₂O:0.3-1.2-1.2(kg/a)



写真 農研水田利用研究室圃場における生育状況(8月29日撮影)

播種日:6月27日、栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2